

環境自治体会議「かつやま会議」 平成24年開催決定!

5月25日(水)から愛媛県新居浜市で開催された今年度の大会で、「環境自治体会議 かつやま会議」を来年5月に開催することが正式に決定しました。次期開催市のあいさつで山岸市長は、「世界で9番目にクリーンなまち勝山市へお越しいただき、環境について皆さんと学習できることを楽しみにしています。」と話し、来年度の「かつやま会議」をアピールしました。



来年度の「かつやま会議」をアピールする山岸市長とかつやま会議実行委員会のメンバー
(新居浜市市民文化センター)

第20回環境自治体会議 かつやま会議

とき：平成24年5月25日(金)～27日(日)

ところ：市民会館ほか

大会テーマ

「恐竜の時代から未来へつなぐ豊かな自然と環境
～世界で9番目に美しいまちからの発信～」

☎ 生活環境課 (☎88-8104)

来年5月25日から3日間

勝山市内で開催

環境自治体会議は、環境施策に積極的に取り組む全国の54の自治体で構成する組織で、毎年1回、それぞれの自治体の取り組みを紹介するとともに、相互の情報交換をすることで環境施策の推進を図っています。

「かつやま会議」は、平成24年5月25日(金)から27日(日)の3日間の日程で行われます。

初日に基調講演と全体会、2日目には10程度の分科会と交流会、3日目には総括の全体会が開催されます。

毎年、大会には開催地以外から約300人が参加しており、市民も含めて3日間延3000人が参加しま

「にいはま会議」に

実行委員・市議会議員も参加

来年に向け視察

5月25日(水)から3日間開催された「にいはま会議」には、勝山市から実行委員会の委員と市議会議員約40人が、来年度の「かつやま会議」に向けて参加と視察を行いました。

初日のパネルディスカッションでは、山岸市長がパネラーとして参加し、勝山市の環境施策などについて紹介しました。また、東日本大震災に向けた緊急提言にも参加し、陸前高田市への独自支援や、今後の支援案について報告しました。



パネルディスカッションに参加した山岸市長

勝山市の実行委員らは、分科会やフィールドワーク(現地視察)を通して、勝山の特色をどのように出したらいいか、どのようなおもてなしをしたらよいか、状況調査を行ったほか、地元のかたがたと情報交換をしました。

にいはま会議各分科会のテーマ

- 第1分科会 環境ビジネス
- 第2分科会 ごみ減量
- 第3分科会 再生可能エネルギー
- 第4分科会 温暖化対策と暮らし
- 第5分科会 環境マネジメントシステム
- 第6分科会 環境と交通
- 第7分科会 自然との共生
- 第8分科会 ふるさとブランド化
- 第9分科会 花と緑のまちづくり
- 第10分科会 これからの環境教育



分科会の様子
(写真上)



フィールドワークで
火力発電所見学
(写真右)

「かつやま会議」に向け

実行委員会発足

「かつやま会議」に向けた準備は、昨年からの市民の代表らで組織したエコ・クリーン市民会議で、環境施策について議論を進めてきました。その検討内容を基に、5月10日(火)に実行委員会を発足し、本格的な準備を開始しました。

実行委員会は、勝山市長、市議会議長、区長会長のほか、エコ・クリーン市民会議の委員、観光や女性団体の代表者らで構成しています。



第1回実行委員会の様子

また、実行委員会とともに大会運営に関わる組織として5つの部会を設置し、一般公募の市民12人と市職員17人が加わっています。

第1回目の実行委員会で、委員長にエコ・クリーン市民会議委員長の石井紀夫さん(昭和町1)を選出し、大会テーマを「恐竜の時代から未来へつなぐ豊かな自然と環境 ～世界で9番目に美しいまちからの発信～」に決定しました。